

令和6年 讃岐民芸館 春の企画展

「民芸で羽ばたく鳥たち」

日常生活で使われていた民芸の品々には、長寿を象徴する鶴や亀、祝い事には欠かせない松竹梅などの図案がよく使われており、讃岐民芸館の所蔵品にもこうした図案が多く見られます。

今回はその中でも「鳥」に焦点を当て、鶴、雀、鶏、セキレイなどが施された作品を紹介します。

私たちの身近にいる雀や鶏なども、縁起の良い鳥として親しまれてきました。人々の幸せや願いを託された「鳥」たちは、愛らしくデザインされ、民芸の中で自由に羽ばたいているように見えます。



◆開催概要◆

- 【会場】 栗林公園 讃岐民芸館（古民芸館）
【期間】 令和6年3月15日(金)～6月9日(日)
【料金】 無料
※ただし栗林公園入園料が別途必要（3/16は無料）
【展示資料】 焼き物、型紙、朝鮮民画など約30点